

第110号

ひこね 市議会 だより



一般会計補正予算 2,951万1千円 可決
医療費の助成に関する条例・火災予防条例の一部改正など



写真は、佐和山城跡の大手方面から本丸を望む

6月定例会のあらまし

6月定例会は、6月7日から23日までの17日間の会期で開催し、提出された議案審議のほか、個人からの質疑、一般質問を行いました。

今期定例会に提出された市長提出議案は11件で、いずれも原案のとおり可決・同意・適当と認めました。また、議員提出議案は意見書案の2件であり、そのうち1件は原案のとおり可決、残り1件は否決しました。

請願2件については、1件は採択、残り1件は不採択としました。

- 5月臨時会・6月定例会の結果 ……2~4
- 議会改革特別委員会中間報告 ……4
- 予算特別委員会・各常任委員会の審査状況 ……5
- 個人質問 ……6~9
- 議員表彰 ……9
- ほかにもこんなことを質問しました ……9
- 議場コンサート開催 ……10

議長に大橋和夫議員
副議長に渡辺史郎議員
監査委員に赤井康彦議員
就任



監査委員
赤井康彦議員



副議長
渡辺史郎議員



議長
大橋和夫議員

去る5月20日に5月臨時会を開催しました。臨時会では、平成22年度補正予算、市税条例等の一部改正等の専決処分関係、彦根市監査委員の人事案件等の7議案を審議し、いずれも原案のとおり承認・可決・同意しました。

また、議長、副議長、各委員会委員の選任等を行いました。平成22年の議会構成は下記のとおりです。

議会の構成

議長	大橋和夫	副議長	渡辺史郎	監査委員	赤井康彦		
常任委員会							
総務		福祉病院		市民文教			
◎安藤 博 成宮 祐二 細江 正人	○辻 真理子 北村 收 野村 郁雄	◎小川喜三郎 西川 正義 山口 大助 山田多津子	○田島 茂洋 杉本 君江 有馬 裕次	◎田中 滋康 渡辺 史郎 矢吹 安子 小林 武	○夏川嘉一郎 藤野 政信 前川 春夫	◎佐野 正博 大橋 和夫 松本 忠男 八木 嘉之	○徳永ひで子 馬場 和子 赤井 康彦
議会運営委員会		特別委員会					
		議会改革			中学校給食実施のための		
◎西川 正義 細江 正人 田中 滋康	○矢吹 安子 馬場 和子 有馬 裕次	◎田島 茂洋 小林 武 藤野 政信	○夏川嘉一郎 八木 嘉之 細江 正人	馬場 和子 徳永ひで子 野村 郁雄	有馬 裕次 成宮 祐二	◎山田多津子 佐野 正博 細江 正人	○馬場 和子 辻 真理子 矢吹 安子
特別委員会			議会報編集委員会		議会情報公開調整委員会		
予算							
◎八木 嘉之 成宮 祐二 松本 忠男 山口 大助	○細江 正人 藤野 政信 小林 武 安藤 博	辻 真理子 馬場 和子 矢吹 安子	北村 收 渡辺 史郎 山田多津子	◎前川 春夫 西川 正義 田中 滋康	○佐野 正博 有馬 裕次 夏川嘉一郎	◎八木 嘉之 馬場 和子 山田多津子	○小林 武 藤野 政信 前川 春夫
議会図書室主管	一部事務組合議会（彦根市選出）						
	彦根市 犬上郡 営林組合議会			彦根愛知犬上広域行政組合議会			
馬場 和子	細江 正人 徳永ひで子 赤井 康彦 山田多津子	馬場 和子 小川喜三郎 藤野 政信 田島 茂洋	佐野 正博 辻 真理子 八木 嘉之 前川 春夫	小林 武 有馬 裕次 田中 滋康	馬場 和子 小川喜三郎 松本 忠男 北村 收	西川 正義 夏川嘉一郎 成宮 祐二	徳永ひで子 赤井 康彦 田島 茂洋

◎ = 委員長、○ = 副委員長

5月臨時会・6月定例会の結果

5月臨時会

予算関係 = 可決

件名	概要
平成22年度（2010年度）彦根市一般会計補正予算（第1号）	補正予算額：353万4千円 市民税非課税世帯の障害者が地域生活支援事業を利用する場合の自己負担を平成22年4月1日に遡って無料とすることに伴う増額補正

条例関係 = いずれも承認・可決

件名	概要
専決処分につき承認を求めることについて（彦根市市税条例の一部を改正する条例）＝承認	地方税法等の一部改正に伴い条例の一部改正を行ったもの
専決処分につき承認を求めることについて（彦根市都市計画税条例の一部を改正する条例）＝承認	
専決処分につき承認を求めることについて（彦根市国民健康保険条例の一部を改正する条例）＝承認	政令の一部改正に伴い条例の一部改正を行ったもの
彦根市市税条例の一部を改正する条例案＝可決	地方税法等の一部改正に伴い、条例の所要の改正を行うもの

人事案件 = いずれも同意

件名	概要
彦根市監査委員の選任につき同意を求めることについて	安藤博氏の辞任に伴い、後任に赤井康彦氏を選任することについて同意を求めるもの
彦根市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて	税務課長を彦根市固定資産評価員に選任することについて同意を求めるもの

報告

件名
損害賠償の額の決定について（4件）

6月定例会

予算関係 = 可決

件名	概要
平成22年度（2010年度）彦根市一般会計補正予算（第2号）	補正予算額：2,951万1千円 日本脳炎の予防接種事業、地場産業等振興対策事業、コミュニティ活動推進事業等の増額補正

条例関係 = いずれも可決

件名	概要
彦根市職員の育児休業等に関する条例および彦根市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例案	国家公務員の育児休業等に関する法律等の一部改正に準じ、市職員の育児休業等の規定について所要の改正を行うもの
彦根市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例案	雇用保険法等の一部改正に準じ、市職員の退職手当の規定について所要の改正を行うもの
彦根市医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例案	県内市町の合意により、障害者支援施設等の所在地の市町に福祉医療費の負担が偏らないよう特例の規定を設けるもの
彦根市企業職員の給与の種類および基準に関する条例の一部を改正する条例案	雇用保険法等の一部改正に準じ、市企業職員の退職手当の規定について所要の改正を行うもの
彦根市火災予防条例の一部を改正する条例案	総務省令の一部改正等に伴い、所要の改正を行うもの

その他 = いずれも可決

件名	概要
滋賀県自治会館管理組合規約の変更につき議決を求めることについて	平成22年3月21日から近江八幡市および安土町が廃され、その区域をもって近江八幡市が設置されたことに伴い、規約を変更するもの
滋賀県市町村職員研修センター規約の変更につき議決を求めることについて	
滋賀県市町村交通災害共済組合規約の変更につき議決を求めることについて	
彦根市と愛知郡愛荘町との境界変更の申請をすることにつき議決を求めることについて	県営経営体育成基盤整備事業の施行に伴い、彦根市と愛知郡愛荘町との境界変更の申請をするもの
財産の取得につき議決を求めることについて	消防ポンプ自動車を取得するもの 購入費：27,912,890円 配置場所：彦根市消防署本署

報 告

件 名
平成21年度（2009年度）彦根市土地開発公社の決算状況について
平成22年度（2010年度）彦根市土地開発公社の事業計画について
平成22年度（2010年度）財団法人彦根市事業公社の事業計画について
平成21年度（2009年度）彦根市繰越明許費繰越計算書について
平成21年度（2009年度）彦根市事故繰越し繰越計算書について
平成21年度（2009年度）彦根市水道事業会計予算繰越しについて
第23期彦根総合地方卸売市場株式会社 of 事業計画について

議員提出議案（意見書案） = 可決、否決

件 名
県立高校の統廃合に関する意見書案 = 否決
子宮頸がんを予防するワクチン接種の公費助成および受診率向上対策の充実を求める意見書案 = 可決

請願 = 採択、不採択

件 名
県立高校の統廃合に関する請願 = 不採択
子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める請願書 = 採択

議 会 改 革 特 別 委 員 会
4 月 21 日 開 催

議 会 基 本 条 例 に つ い て

議会基本条例については、本市議会における議会基本条例の制定について、制定の必要性を含めて協議しました。

各委員からは様々な角度から意見が提出されましたが、地方分権の大きな流れの中にあつて、地方議会に求められている役割を実現するために、また、これまで取り組んできた議会改革をさらに推し進めていくためにも、本市において議会基本条例を制定することは必要であるとの大きな部分での認識は共通であったことから、今後、その制定に向けて議論を進めていくこととなりました。

また、できるだけ早い時点で全議員を対象として議会基本条例に関する研修会も開催することとなりました。

予 算 特 別 委 員 会 に つ い て

予算特別委員会については、昨年3月定例会での設置以来、本年3月定例会まで議員全員を委員として予算審査を行いました

が、これまでの予算特別委員会運営上の課題等を踏まえながら、予算特別委員会の委員数について協議しました。

意見としては、これまでどおり全員を委員とする意見、半数とする意見等があり、最終的には5月臨時会から委員数を減ずることと決定しました。

※ 其 の 後 の 経 過

委員の数については、次の代表者会議において各会派での意見を取りまとめることとなり、その後、議会運営委員会で協議し、5月臨時会から14人の委員

で審査を行うこととなりました。

予算特別委員会

5月20日に開催した

委員会では、一般会計

補正予算1件の議案審査を行いました。審査では、国における障害者自立支援法に基づく利用者負担免除等請求事件の和解成立を機に日常生活用具給付等事業、移動支援事業、日中一時支援事業等の地域生活支援事業について低所得者の利用者負担を無料化するための平成21年度実績見込での事業費算出等の質疑がありました。採決では、原案のとおり可決すべきものと決しました。

6月17日に開催した

委員会では、一般会計

補正予算1件の議案審査を行いました。審査では、コミュニティ助成事業の採択状況や事業周知の方法、地域活性化センターや自治総合センター等の助成事業の広報、共聴施設デジタル化事業の工事期間、入札方法やアナログへの影響、日本脳炎予防接種の積極的な勧奨、鳥居本小中学校での小・中連携教育実践研究の実績、ひこね織維シンポジウム開催事業に対する補助の内容、市のかかわり等の質疑がありました。採決では、原案のとおり可決すべきものと決しました。

産業建設常任委員会

6月18日に開催した

委員会では、条例の一部改正1件の議案審査

を行いました。審査では、施行日以前の適用について質疑

がありました。採決では、異議なく原案のとおり可決すべきものと決しました。

総務常任委員会

5月20日に開催した

委員会では、条例の一部改正の専決処分2件および条例の一部改正1件の計3議案の審査を行いました。3議案とも異議なく承認・

可決すべきものと決しました。6月18日に開催した委員会では、条例の一部改正3件および議決案件4件の計7議案の審査を行いました。

財産取得の審査では、消防ポンプ自動車の購入に関する入札業者および入札額等の質疑がありました。採決では、7議案すべて異議なく原案のとおり可決すべきものと決しました。

市民文教常任委員会

5月20日に開催した

委員会では、条例の一部改正の専決処分1件の議案審査を行いました。が、異議なく承認すべきものと決しました。6月21日に開催した委員会では、条例の一部改正1件、議決案件

1件の計2議案および請願1件の審査を行いました。医療費の助成に関する条件の一部改正に関する、住所地特例の規定を設けることについて質疑がありました。採決では、2議案と

も異議なく原案のとおり可決すべきものと決しました。請願「県立高校の統合廃合に関する請願」の審査では、賛成、反対の立場から意見が出され、起立採決の結果、可否同数となり、委員長の決により採択すべきものと決しました。

福祉病院常任委員会

6月21日に開催した

委員会では、請願1件の審査を行いました。

請願「子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める請願書」

の審査は、採択を求める意見が出され、採決では、採択すべきものと決しました。



旧町名の表記と その説明板の設置を



▲伝馬町説明板

馬場 和子

問 城下町らしさを演出し、その町がどのような役割を担ってきたかを示す旧町名の表記をしては、歴史的なまちなみを

紹介する案内板の設置を計画。旧町名の表記は重要であり、表記の方法や意匠を含めて検討する。
問 旧町名のいわれを示し城下町を形成していた町の説明板を設置しては、旧町名そのものが城下町の歴史を物語るものであり、その由来を記した説明板を要所に設置し、市民や観光客にご覧いただくことは、城下町の歴史の周知に意義があり、伝馬町・善利組足軽屋敷の他に今後、順次設置箇所を増やしていきたい。



表記を検討、説明板も順次設置する



愛のりタクシー停留所増と 料金減を

山田多津子

問 公共交通機関は地域住民の自立した日常生活を確保し地域間交流の促進に必要。「愛のりタクシー」はそれを補完するものとし、バス利用者との公平性からも、料金を引き下げ定額制にすべきである。また、利便性を図るため便数と停留所の増設が必要と考えるが。



答 利便性の向上や効率性から料金の定額制は有効だが、タクシー事業者への運行経費は走行距離に応じて変動する性質から定額制の導入は困難である。停留所の増設や便数増については、今後地域や利用者などの声も聞きながら、公共交通活性化協議会で検討していく。



料金定額制は困難、停留所増は検討



荒神山少年自然の家の 移管時期は



▲荒神山少年自然の家

安藤 博

問 昨年11月以降、県との協議内容について問う。
答 配置期間は未定だが県職員2名の継続配置とし、土地・施設・設備の

無償譲渡、更に県予算で施設・設備の改修について協議し合意に至った。併せて世界遺産登録への協力や、新たに屋内温水プールを建設する場合は彦根市へ、また歴史博物館の誘致についても協議を行ってきた。
問 彦根市の移管時期は、いつ頃か問う。
答 平成23年4月を目指し準備を進めていく。しかし予算措置や、利用料も含む条例整備を考慮すると夏休み頃まで遅れる可能性もある。



平成23年4月を目指し準備していく



稲枝駅改築整備の 早期実現を求める

西川 正義

問 稲枝駅舎改築整備に向けた今後の具体的な工程について問う。
答 今年度は基本協定の締結に向けてJR西日本と協議しながら駅舎、東西自由通路、駅前広場に関する基本設計を進める。また、概算工事費を算出し、合意に至れば基本協定の締結となり駅舎等の実施設計に着手後工事に着工となる。



▲稲枝駅跨線橋

答 橋上駅は改札口及び駅事務室が駅舎2階部分に設置され線路上空に位置する。半橋上駅はその位置が線路上空でない橋上駅を指すが駅舎の形態は橋上駅であり今後は橋上駅として説明していく。



着実な実行に取り組む

有馬 裕次

問 パートナーシップによるローカル・ガバナンスの推進についてどうか
答 参加、協働の定義が
あいまいで全自治会対象



▲総合発展計画

山口 大助

問 道の駅についてはこれまで何回か要望してきた。近年は農産物直売所の設置が盛んになってきた。本市においても農産物直売所や食育、地域活性化等の施設をとり入れた道の駅の設置を要望するがどうか問う。
答 定住自立圏構想の中で湖東圏域地産地消推進協議会を立ち上げ、直売施設の充実について提案していく中で検討する。

市民が参加する総合計画の協働とは



公民館などの運営は総合的判断で



の協働まちづくり会議は説明会に過ぎず、市長としては名称を変更したい。
問 中地区公民館の民間委託は経費大幅減、利用者増、地域力向上等の成功事例。他の公民館にも拡大し、活かすべきでは。
答 総合的判断で進める。
問 日曜休館、五時十五分は、市民利用者の目線で日曜開館、閉館時間を延長すべきでは。
答 規則により館長が必要と認めれば許可し規則改正はしない。休館日利用の利便性向上を図る。

彦根市に道の駅の設置を要望する



直売施設の充実を提案していく



▲石寺町の農産物直売所

辻 真理子

問 滋賀医科大学「寄附講座」の開設は、市立病院産婦人科にどのような効果があるのか。
答 「滋賀県地域医療再生計画」では、目標の第一番目に「湖東医療圏の周産期医療体制の整備、充実を図るため、滋賀医科大学に寄附講座を開設し、彦根市立病院の産科医師を確保し、分娩の再開を図る」と掲げられております。寄附講座は、

滋賀医科大学「寄附講座」について

滋賀医科大学「寄附講座」について



市立病院での分娩再開に大きな効果



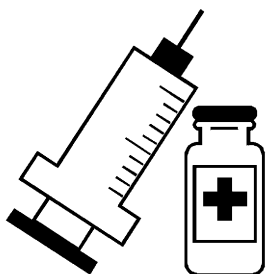
大学に講座を設けて彦根市立病院へ派遣できるように産科医師の養成をしようとするものであり、市立病院での医師による分娩再開に向け大きな効果をもたらすものである。



▲市立病院

徳永ひで子

問 昨年10月に厚生労働省が、予防ワクチンを承認し、12月に発売がスタートした。子宮頸がんは予防できるがんであり、



子宮頸がんワクチンの公費助成を



早期の実現をめざしていきたい



女性の命を守るため、早期の子宮頸がんワクチン接種の公費助成を求めるが考えは。
答 子宮頸がんは、ウイルス感染が原因であることが明らかになっており、子宮頸がんワクチンは、この病気を予防する効果が高く女性の健康を守るという観点からも、ワクチンを接種することは有効なものと認識している。国、県に対して定期接種化と合わせ、財政的支援を強く要望し、早期の実現をめざしていきたい。



消費生活相談窓口の 早急な充実を



▲消費生活相談室

問 市民から多重債務の相談をうけ、消費生活相談室を訪れたところ、10年来勤続の職員が退職され相談室の看板はおろし

田中 滋康

たままである。消費者行政拡充に対する国の補助金は増えている。相談窓口の拡充と消費生活相談員を専門職種とした処遇の改善を図ることは。
答 相談員は、現在2名で今後資格の取得を目指し、市民からの相談に十分な対応ができるように公費負担で研修を積みと共に、県と市が協力して相談がうけられる体制を整える。相談員の処遇の改善は、専門性等も考慮し賃金の決定基準に副つて決定する。



相談員2名体制で県市が協力し対応



病院は顧客信頼度の 更なる向上策を

問 病院試練の時代。市立病院も経営改革に取組中なれどいかなる改革も顧客信頼が第一。この強化こそ改革前進のキーワードのはず。顧客ぬくもり対応や高度的確な医療提供（医師研修や能力差解消策での質的向上）策等は更なる努力が必要と考えるが、見解を問う。
答 「安心とぬくもりのある病院」を基本理念に、接遇マナーの向上のため

夏川嘉一郎

全職員を対象とした研修を実施している。また、医師間の能力差は、部長級医師の指導による診断や治療方針のチェックなどに努めている。今後も接遇向上や業務改善に病院全体で取り組んでいく。



「安心とぬくもり」目指して業務改善



子どもを取り巻く問題への 対応は

問 教育サポート制度や学校支援地域本部事業など十分に活用されていないのではないか。
答 各地域の有効な人材

問 子育て事業は、地域偏在の解消や利用日時の柔軟な設定など事業を生かす改善が望まれるが。
答 関係各課で事業内容や対象者の精査を行い、課題を洗い出し行政サービスの隙間がないか点検していく方針である。

八木 嘉之



発掘と把握に努め組織的な取り組みを進める。
問 予算措置を施し子どもたちの健全育成に資するモデル地域の確立を。
答 プロジェクトチームが中心となり研究し実効性のある事業推進を図る。



プロジェクトチームを立ち上げ検討



東中学校の緑化について

問 敷地周囲の立木の緑化について
答 校舎正面玄関側や中庭のスペースにケヤキ、モミジ、サツキツツジな

松本 忠男



敷地周囲の立木の緑化について
敷地の西側や南側には、現在ある桜木などをできる限り残すとともに現在の正面玄関前にある築山を新校舎の正面玄関前に移設するなど、既存の樹木を有効に活用しながら、限られたスペースの緑化に努める。
なお、グラウンド造成等の外溝工事においては、グラウンド周辺への植栽や学校菜園を設けることも検討しており、可能な限り緑化を図ってまいりたい。



学校敷地内の緑化に努める

議員表彰

全国市議会議長会会長および滋賀県市議会議長会会長から、次の議員が表彰を受けられました。

15年表彰



北村 収議員



前川 春夫議員

成宮 祐二

問 国保は、「皆保険」が前提なのに、資格証のみや無保険者が多数ある。これは、不況による支払い困難者や非正規切りによる無保険者だ。病気になるっても受診できなく全国では死亡者も出ている。国会で、資格証発行の改善や国保料低減への追及がされ、国の見解が示されているが、保険者（市）に届いているか。
答 新聞報道等では認識

Q 国保の「資格証・無保険者」根絶を

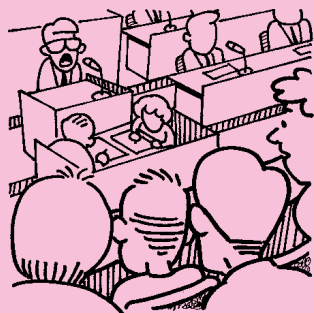
A 国会の議論正式な通知はない

問 しているが、正式な通知はない。動向を見守る。
答 保険料が高くて支払いできない人が増えている。一万円の引き下げを。
問 今年度保険料率の引き上げを行っており、引き下げは非常に困難だ。



ほかにもこんなことを質問しました

- ☆次世代育成支援行動計画 後期行動計画策定
- ☆木のいえ整備促進事業の推進
- ☆消防署職員は不足している 安心な市民生活のための見直しを
- ☆中学校給食実施に向けた進展を問う
- ☆150年祭後の新たな観光施策に関して
- ☆消防に関して
- ☆本市の流域について
- ☆観光客の温かいもてなしについて



- ☆旭森地区公民館に調理室の設置を
- ☆変化する時代の総合計画を考える
- ☆歴史イベントの在り方を考える
- ☆本市の情報政策について
- ☆高校統廃合問題について
- ☆障害者自立支援法の即時廃止を国に求めること
- ☆畜産農家の暮らしと営業をまもれ
- ☆市立病院が市民に開かれた病院となるために
- ☆県立「少年自然の家」の移管について
- ☆子ども達の健やかな育ちを支えるために
- ☆金亀公園エントランス広場の現状と今後について
- ☆石寺地先における非農用地の利活用について
- ☆薩摩町、新海浜の浜がけについて
- ☆東中校舎改築工事、高宮小学校校舎増改築工事
- ☆彦根市まちづくり基本条例について
- ☆子ども手当について

議場コンサートを開催しました

市議会では、会派を超えた議員有志による議会開放推進プロジェクトチームを組織し、市民に開かれた議会づくりを進めています。

その取組の一環として、6月定例会開会日の6月7日(月)に第7回議場コンサートを開催しました。

今回は、筑前琵琶日本橋会旭城会の堀川旭城さん、岡田旭優さん、酒居旭玲さん、奥野旭苑さんをお招きし、「南部坂」「井伊大老」を約30分間、琵琶の演奏を行っていただきました。



議場には、多くの方々にお越しいただき、心と体に響く語りと演奏により現実を忘れてひとときを過ごしていただきました。



第8回

議場コンサート(予定)

日時 平成22年9月6日(月)
13時から

場 所 彦根市議会議場
(市役所5階)

出演者 公募(6/15~7/15)による応募者から選考中

その他 詳細は広報ひこねやホームページでお知らせの予定です

次の定例会は
9月です

6月定例会は延べ30人が傍聴



本会議の日程(予定)

開 会 9月6日(月)
代表質問 9月13日(月)
個人質問 9月14日(火)
閉 会 9月15日(水)
9月24日(金)
いずれも9時から開催予定

委員会の日程(予定)

予 算 9月16日(木)
総 務 9月17日(金)
◆市民文教 福祉病院
◆産業建設 9月21日(火)
◆印の委員会は14時から、それ以外は9時から開催予定

編集後記

みを!

紺碧の夏空の季節、こどもたちは元気な夏休みを!

常夏の国 我した島 沖縄

芭蕉は情に 手を招く

南の風に 緑葉の

今年の荒神山の水無月祭りは晴天であった。今年は乾梅雨かと思いきや、7月に入つてどつと各地に豪雨の災い。雨降つて 地固まる、と言つが、近年の集中豪雨は、雨降つて 地流れる。土石流が河川や道路、家屋を一気に飲み込む惨状は目を覆つばかりだ。

雨塊を破らず、太平の世には雨も静かに降つて土を壊さず草木を培養すると言つ。静かに降る利休風の雨にカタツムリが生命を謳歌している。ふと目が合ったイタチの顔は泥だらけ。今も印象に残る。子育てのために必死に餌を探し回っているのだらうか。

沖縄の梅雨明け宣言も遠くない。芭蕉布を口ずさむ。

※ひこね市議会だよりは再生紙を利用しています。